

令和5年度第一回「食を通じた地域のプロモーション・交流事業」を 北海道木古内町・知内町・福島町・松前町で開催しました！

クレアでは、株式会社 ABC Cooking Studio（以下「ABC 社」という。）と連携し、韓国・中国・東南アジア各国の ABC 社料理教室に通う生徒等を招聘、日本国内でガストロノミーツアーを実施する事業を平成 30 年度より実施しています。

本事業は、SNS 等で発信力のある ABC 社料理教室に通う生徒等に、日本各地域の「食」をテーマとしたツアーに参加してもらい、フィードバックを得るとともに、SNS や各種メディアでの情報発信を通じ、地方自治体の海外販路開拓やインバウンド促進につなげることを目的としています。

本年度第一回目のツアーは、料理教室を展開する株式会社 ABC Cooking Studio の香港スタジオに通う生徒 3 名を北海道木古内町・知内町・福島町・松前町に招き、2023 年 7 月 24 日（月）～7 月 27 日（木）の日程で実施しました。

今回のツアーでは、日ごろから食を中心に Instagram で情報発信している方々を招聘し、渡島西部（木古内町・知内町・福島町・松前町）の食や文化等を発信してもらいました。

ツアーの様子をまとめた動画も公開しておりますので、URL よりぜひご覧ください！

【https://youtu.be/TGKUZof9b60?si=sBujQGBolJbz_FsP】

ツアーの詳細については、以下のとおりです。

1 日目

<JR 木古内駅（ツアー開始）>

東京駅から北海道新幹線に乗車し約 4 時間、青函トンネルを抜けて最初の停車駅 JR 木古内駅から今年度最初のツアーが始まります。JR 木古内駅では、木古内町役場の皆さんにお出迎えいただきました。



（JR 木古内駅に到着した招聘者の皆さん）

<はこだて和牛グルメ>

本ツアー最初のお食事は、木古内町の特産品である「はこだて和牛」を使ったグルメ。

はこだて和牛は、年間で 220 頭前後しか出荷されない貴重なブランド和牛で、柔らかく上品な味わいに加え、ヘルシーな赤身に肉の旨みがギュッと詰まっており、女性からも大人気。今回は貴重なはこだて和牛をハンバーガーとコロッケにいただきました。

食事をいただくのは、津軽海峡を一面に望む「みそぎ浜」。真っ青な津軽海峡に佇む大鳥居が SNS 映えすると海外の方からも人気のフォトスポットです。美しい景色とともにいただくはこだて和牛は格別だったようで、参加者の皆さんは口々に「美味しい、美味しい！」と声を弾ませていらっしゃいました。



(はこだて和牛バーガーとコロッケ)



(みそぎ浜で食事をいただく様子)

<佐女川神社>

みそぎ浜でのお食事後は、佐女川神社を参拝しました。佐女川神社はみそぎ浜とともに、190 年以上続く伝統神事「寒中みそぎ祭り」の舞台として知られており、ツアー当日は木古内町役場の皆さんから、みそぎ祭りについてご説明いただきました。参加者の皆さんからは、「木古内町の歴史や祭り文化を知ることができ、貴重な体験だった」との感想が聞かれました。

7月下旬のツアーということもあり、佐女川神社には紫陽花が咲き誇っていました。参加者の皆さんは各々に、佐女川神社を背景に紫陽花の撮影を楽しまれました。



(寒中みそぎ祭りに関する説明を受ける様子)



(佐女川神社を背景に紫陽花を撮影)

(参考) みそぎ祭り

天保2年(1831年)から続く神事で、毎年行修者と呼ばれる4人の若者が、1月13日から佐女川神社にこもり、何度も冷水をかぶって鍛錬を行い、15日に厳寒の津軽海峡の中でご神体を潔(きよ)め、1年の豊漁豊作などを祈願します。

<https://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kanko/event/kantyu.html>

<きこないビュー温泉のとや(夕食・宿泊)>

今回のツアーでお世話になるのは「きこないビュー温泉のとや」です。のとやは木古内町唯一の天然温泉宿。宿自慢の大浴場からは津軽海峡を望むことができ、観光客のみならず、地元の方々からも愛されています。宿の皆さんの優しくあたたかなおもてなしに、参加者の皆さん、終始リラックスされているようでした。

夕食はアワビやウニ、自家製のイクラ等、地元の海の幸をふんだんに使った料理を食していただきました。沢山の料理に、皆さんから「もうお腹いっぱい!」との嬉しい悲鳴が聞こえてきました。



(のとやの皆さんと記念撮影)



(地元の海産物を使った夕食をいただく皆さん)

2 日 目

<北海道新幹線ビュースポット>

気持ちの良い夏晴れに恵まれ、2 日目がスタートしました。最初に訪れたのは北海道新幹線ビュースポットです。山間を走り抜ける北海道新幹線を真正面から望むことができ、鉄道ファンから人気のスポットとのこと。皆さんは、北海道新幹線が上下に交差する様子を熱心に撮影されていました。



(北海道新幹線ビュースポット)



(北海道新幹線を撮影する皆さん)

<地引き網体験>

本ツアー最初のアクティビティは地引き網体験です。津軽海峡は寒暖の潮流が交差する豊富な漁場として知られており、今回のツアーではその豊かな自然を直に体験できる地引き網漁に挑戦していただきました。当日は滅多にない大漁とのこと、網にかかった魚を手づかみにされる等、参加者の皆さんは大興奮の様子。当日はカモメへのエサやりも体験することができました。参加者からは「今まで体験したことないアクティビティだった」、「漁を実際に体験できるとは思わなかった」との声が聞かれました。



(魚を手づかみにする様子)



(カモメにエサやりする様子)

<浜焼バーベキュー・ジンギスカン体験（昼食）>

地引き網体験でお腹を空かした後は、待ちに待った昼食の時間です。参加者の皆さんには、木古内町特産品のホタテや、北海道名産の「味付ジンギスカン」を食していただきます。

津軽海峡の豊かな海で育ったホタテは身も引き締まり歯ごたえ抜群。また、木古内町のソウルフードとしての呼び声高いジンギスカンは、柔らかな食感そのままにクセになる味わいで、参加者の皆さんもやみつきの様子でした。



(浜焼バーベキューを楽しむ様子)



(味付ジンギスカンをいただく様子)

<サラキ岬>

昼食後は、幕末に活躍した「咸臨丸（かんりんまる）」が眠るといわれるサラキ岬を訪れました。岬からは、津軽海峡を一望することができるほか、函館山を眺めることもできます。咸臨丸がオランダで建造された縁から、サラキ岬には数万ものチューリップが植えられており、5月の開花時期にはチューリップまつりも開催されるとのこと。また、岬に設置されている咸臨丸モニュメントは有志によるお手製とのことで、そのクオリティの高さに参加者の皆さんも驚かされていました。



(紫陽花と咸臨丸モニュメント)



(津軽海峡を望むサラキ岬)

(参考) サラキ岬に眠る「咸臨丸」

咸臨丸は、1857年(安政4年)にオランダのキンデルダイクで産声をあげ、幕府海軍創成期の主力艦として配備されました。

開国の嵐が吹きすさぶ中、1860年(安政7年)、木村摂津守喜毅、勝海舟、福沢諭吉、ジョン万次郎など百余名を乗せ、日米修好通商条約批准書交換目的で渡米する幕府遣米使節護衛目的の随伴艦として太平洋を渡る偉業を成し遂げるなど、幕末の動乱期に日本近代化の歴史的象徴として活躍しました。

しかし、その栄光とは裏腹に、晩年は戊辰戦争の渦に巻き込まれ、軍艦から北海道への物資運搬船となり数奇な運命をたどります。

戊辰戦争で敗れ、北海道移住を余儀なくされた仙台藩片倉小十郎家臣団401名を乗せて仙台の寒風沢を出港した咸臨丸は、箱館経由で小樽に向かう途中、1871年(明治4年)9月20日、木古内町のサラキ岬沖で座礁。現地(泉沢)の人々の懸命な救助により、乗船者は難を逃れましたが、咸臨丸はその数日後に破船沈没しました。

<https://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kanko/rekishi/kanrimmaru.html>

<道南トロッコ鉄道体験>

旧 JR 江差線の廃線跡を利用した「道南トロッコ鉄道」は、木古内町の自然を感じながら楽しむことができる人気アクティビティ。牧草地をトロッコで駆け抜ける爽快感は格別。北海道らしい景観を楽しむことはもちろん、トロッコに乗車しながらお寺の境内を横切る等、貴重な体験をすることができます。参加者の皆さんからは、「今回のツアーの中で最も楽しかったアクティビティのひとつ」との感想が聞かれました。



(道南トロッコ鉄道体験)

3 日 目

<重内神社・重内展望台>

木古内町から知内町に移動し、3 日目の行程がスタートしました。最初に訪れたのは、重内神社と重内展望台です。神社本殿の裏手には 210 段もの階段が長く伸びており、頂上にある社殿からは海に向かって真っすぐに伸びる直線道路を一望することができます。春には道路沿いに約 500 本もの桜が咲き誇り、本州では決して見ることのできない大パノラマを楽しむことができます。今回のツアーでは桜を見ることは叶わなかったものの、北海道ならではの壮大な景色を楽しむことができました。



(重内展望台外観)



(展望台から直線道路を撮影する様子)

<知内小谷石>

知内小谷石は、断崖絶壁が続く矢越海岸の入口に位置し、北海道三大秘境の一つとして知られています。天候に恵まれた日には、展望台から青森を見渡すことができるとのことです。参加者の皆さんは足早に展望台までの階段を上っていきます。階段を抜けた先にある展望台から見下ろす真っ青な津軽海峡に、参加者の皆さんは息をのむほど感動されていました。



(小石谷海岸で記念撮影)



(知内小谷石展望台で記念撮影)

< レストランたかお（昼食／アワビカレー） >

知内小谷石の景色を堪能した後は福島町まで移動。福島町は、日本初の完全陸上養殖技術を用いた蝦夷鮑の生産に成功しており、津軽海峡のミネラル豊富な海水をかけ流す環境で育った養殖鮑は、天然ものにひけをとらない味わいで有名。本日の昼食は、そんな福島町の養殖鮑を贅沢に3つも使ったカレーをいただきます。カラッと揚がったアワビはカレーとの相性抜群。参加者の皆さん、ペロリとカレーを平らげていました。

今回の昼食でお世話になった「レストランたかお」は、カレー以外にもパスタメニュー等が豊富。北海道産イカのくちばし（とんび）を使用した和風パスタをスタッフがいただいていると、「美味しそう！」と、皆さん目移りされていました。



（レストランたかお外観）



（アワビカレー）

< あさみ商店（松前漬作り体験） >

福島町での昼食後はお隣の松前町まで移動。松前藩屋敷内で営業している「あさみ商店」で、松前漬作りを体験しました。松前漬は、乾燥させたスルメイカと昆布を細切りにし、タレで漬け込んだ松前町を代表する郷土料理。明るいお母さんが楽しく、丁寧に作り方を教えてください、参加者の皆さんも熱心に取り組んでいました。自分で作った松前漬をお土産として持ち帰ることができるため、皆さん大満足の体験となりました。



（松前漬作りを体験する様子）



（あさみ商店のお母さんと記念撮影）

<松前藩屋敷散策>

松前漬作り体験に続いて、松前藩屋敷を散策しました。江戸時代の松前城下を再現した松前藩屋敷には、海の関所「沖之口奉行所」や藩士が暮らした「武家屋敷」、ニシン漁の「番屋」、「旅籠」、「髪結」など、14棟の建物が建ち並び、当時の様子を伺い知ることができます。今回のツアーでは、古き良き城下町を着物姿で散策していただきました。

ツアーに訪れた時期は約 2000 本の紫陽花が水路に浮かぶ「浮き紫陽花」とも重なり、参加者の皆さんは各々SNS 映えする写真を撮影されていました。



(武家屋敷にて記念撮影)



(浮き紫陽花とともに記念撮影)

4 日 目

<秋山農園（野菜収穫体験）>

秋山農園は木古内町で野菜栽培と農産加工品（べこ餅、漬物など）の製造を行っています。直売所ではその日に収穫された様々な新鮮野菜を販売しており、町内外から大勢のお客様が訪れるとのこと。今回のツアーでは、秋山農園で育てたミニトマト「あいこ」の収穫を体験しました。普段はあまりトマトを食べない参加者の皆さんでしたが、新鮮なミニトマトのあまりの美味しさに、何度も試食を繰り返されていました。また、この日、加工用にと熊の毛皮が持ち込まれ、特別に触る許可をいただきました。木古内町では、年間2、3頭ほど熊が狩猟されるとのことですが、滅多にない体験に参加者の皆さんも驚かされている様子でした。



（トマトを収穫する様子）



（熊の毛皮と記念撮影）

<どうなん de's（昼食）>

本日の昼食は、「道の駅 みそぎの郷 きこない」の中にあるイタリアンレストラン「どうなん de's」（読み方・どうなんデス）でいただきます。木古内はもちろん、海の幸・山の幸が豊富な道南エリア各地から優れた食材、旬の食材を集め、食材本来の持ち味を引き出すメニューが充実。和風パスタやピザにおしゃれな豚丼等、各々が好みの食べ物を注文しました。味はもちろん、どの料理も綺麗に盛り付けられており、参加者の皆さん大満足の様子でした。



（昼食をいただく様子）



（どうなん de's 自慢の料理）

<道の駅 みそぎの郷 きこない（お土産購入）>

「道の駅 みそぎの郷 きこない」は、2016年3月の北海道新幹線開業より一足早くオープンした広域観光拠点施設。道南西部9町（木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、厚沢部町、乙部町、奥尻町）広域の旬の魅力を発信しており、北海道「道の駅」満足度総合ランキング1位を4度受賞したこともある人気スポットです。ツアー最終日ということもあり、参加者の皆さんは思い思いにお土産を購入していきます。なかでも、コッペン道士（どっと）の塩パンが美味しかったとのことで、皆さん大量購入されていました。



（道の駅 みそぎの郷 きこない）



（大人気コッペン道士の塩パン）

<みそぎまち歩き>

昼食後は、「寒中みそぎ祭り」にゆかりのあるスポットを散策しました。

最初に訪れたのは、地元の老舗酒屋「みそぎの舞」です。生産量が少なく、木古内町内でしか流通していない幻の地酒「みそぎの舞」を試飲させていただきました。スッキリとした辛口で飲みやすいと、参加者の皆さんにも大変好評でした。

続いて訪問したのは和菓子「末廣庵」。1934年創業の和菓子の老舗で、代表的銘菓「孝行餅」を試食しました。孝行餅は創業当時から木古内の地で愛されてきた伝統商品。地元の言い伝えである「木古内の坊」にちなみ、「地域に根ざしたお菓子をつくりたい」という同店の思いが込められています。醤油味のクルミ入りゆべしは上品な甘さで、参加者の皆さんも舌鼓を打っていました。



（みそぎの舞について説明を受ける様子）



（末廣庵で説明を受ける様子）

<JR 木古内駅（ツアー終了）>

早いもので3泊4日のツアーは終わり、皆さんとお別れする時間となりました。

この度のツアー内容につきましては、皆さんのSNS（Instagram）を通じて、香港の方を中心に、全世界へ渡島西部（木古内町・知内町・福島町・松前町）の魅力を発信していただきました。本ツアーを通じて、外国人観光客が何に魅力を感じるのかを認識する貴重な機会になりました。また、外国人観光客の受け入れ態勢についても見直すことができ、今後の渡島西部のインバウンド戦略の一助になったのではないかと考えております。

本ツアーで得た写真や動画などのPR素材、アンケートにて指摘いただいた発信ポイントや改善点を活用し、今後の海外戦略がさらに進展することを期待し、活動報告といたします。



（JR 木古内駅でお別れ）

参考（主なツアー行程）

1日目

時間	場所（内容）
14:49	JR木古内駅（ツアー開始）
15:30 ～16:25	はこだて和牛グルメ
16:30 ～17:00	佐女川神社
18:00 ～20:00	きこないビュウ温泉のとや（夕食）

2日目

9:30 ～10:10	北海道新幹線ビュースポット
10:30 ～12:00	地引き網体験
12:00 ～13:30	浜焼バーベキュー・ジンギスカン体験（昼食）
14:25 ～15:25	サラキ岬
15:45 ～16:45	道南トロッコ鉄道体験

3日目

9:50 ～10:30	重内神社・重内展望台
10:50 ～11:40	知内小谷石
12:20 ～13:20	レストランたかお（昼食／アワビカレー）
14:00 ～15:00	あさみ商店（松前漬作り体験）
15:00 ～16:30	松前藩屋敷散策

4日目

9:30 ~10:30	秋山農園 (野菜収穫体験)
11:00 ~12:00	どうなん de's (昼食)
12:00 ~13:00	道の駅 みそぎの郷 きこない (お土産購入)
13:00 ~14:00	みそぎまち歩き
14:30~	JR 木古内駅 (ツアー終了)